

**第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会**

日時：令和5年12月21日

場所：サンセール盛岡3階 瑞雲

## 令和5年度第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会会議録

### 1 開 会

(林業振興課：高芝振興担当課長)

会議を始める前に資料の確認をいたします。資料は事前に配布しておりますが、

「次第・名簿」

「資料1 いわての森林づくり県民税（第4期）の取組状況について」

「資料2 アカマツ広葉樹林化の施工地現地調査について」

一式ですが、不足等ございませんでしょうか。それでは、時間まで、お待ちください。

ただいまから、令和5年度第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会を開催いたします。

私は、進行を務めます、林業振興課の高芝でございます。本日はよろしくお願いいたします。委員の皆様には、御多用のところ御出席いただき、誠にありがとうございます。

本日は、お手元の次第裏面の出席者名簿のとおり、10名中8名の委員に御出席いただき、岩手県附属機関条例第6条第2項の規定によりこの会議が成立していることを報告いたします。

それでは、会議を進めさせていただきます。今回の委員会は、次第にありますとおり、

(1) いわての森林づくり県民税（第4期）の取組状況について

(2) その他（アカマツ広葉樹林化の施工地現地調査について）

の2項目を予定しております。議事の進行につきましては、國崎委員長にお願いいたします。

## 2 議 題

### (1) いわての森林づくり県民税（第4期）の取組状況について

(國崎委員長)

それでは、年末お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。議題1の「いわての森林づくり県民税(第4期)の取組状況について」ですが、資料No.11番から7番まで、それぞれ事務局から御説明をお願いします。

(林業振興課：澤口主査) 【資料1 No. ①-1 に基づき説明】

(林業振興課：中嶋主任主査) 【資料1 No. ①-2～①-3 に基づき説明】

(森林整備課：上部主任主査) 【資料1 No. ①-4 に基づき説明】

(森林整備課：中嶋主任主査) 【資料1 No. ①-5～①-6 に基づき説明】

(林業振興課：澤口主査) 【資料1 No. ①-7 に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。意見等ございましたら、よろしくお願ひいたします。若生委員よろしくお願ひいたします。

(若生委員)

3点お伺ひしたいと思います。

まず一つ目に、混交林誘導伐の施工地確保が伸び悩んでいる理由をお聞ひしたいです。

二つ目に、事業の達成率が100%を超える事業とそうでない事業がある理由をお聞ひしたいです。混交林誘導伐よりもアカマツ林広葉樹林化など緊急度が高いものが優先されているのかも併せて伺ひたいです。

三つ目に、作業道整備における目標数値は、対象森林までの距離を計測して設定しているかお伺ひしたいです。

(國崎委員長)

どこからでも結構ですので、よろしくお願ひいたします。

(林業振興課：澤口主査)

混交林誘導伐については、事業開始時期よりも施工地が奥地化しているなど、確保

が難しい状況があります。作業道については、実績に基づきながら、計画を見直し設定しています。

(工藤林務担当技監)

補足をさせていただきます。事業実施主体は、主伐や再造林の方を優先してしまして、労務の状況を見ながら混交林誘導伐を実施していることから、全く施工地がないわけではありません。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

御質問いただいた 100%達成しているものとそうでないものがあるというお話についてですが、混交誘導伐は、間伐作業を中心とする作業班が主に事業を行っているものです。アカマツ林広葉樹林化やナラ林健全化は、皆伐作業になるので、1つの事業体でも作業班が異なることから、作業自体の需要という意味での違いが出てきているのではないかと推察されます。

(若生委員)

ありがとうございました。御説明を聞いてさらに伺いたいのですが、予算の配分については、緊急度による需要をもとに行っているのでしょうか。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

ありがとうございます。いわての森林づくり県民税を行う趣旨があることから、需要があるから予算を充てるということではなく、目的にあった使い方ということで考えています。需要がある事業については、予算の範囲を考慮し配分しています。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。吉野委員よろしく申し上げます。

(吉野委員)

一点目に、各ページに乗っている写真はいつの年度に撮ったのか、どの場所かというのは、書いておいた方が良いのではないかと思います。

二点目に、ナラ林健全化とアカマツ林広葉樹林化で、事業実施後、どれくらい経つと効果が出て、実施前からどれくらいの効果があると考えられるのでしょうか、また、その目安などはあるのでしょうか。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

一つ目に関しまして、大変失礼いたしました。今後、取りまとめ等を進めていくなか

で、御指摘いただいたところを表記しながらまとめていきたいと考えています。

(森林整備課：中嶋主任主査)

ありがとうございました。実施後の効果について、ナラ林健全化では、萌芽更新して若いナラ林になっています。また、アカマツ林広葉樹林化では、新たな広葉樹が成長しており、効果が出ていることが確認されています。被害の拡大を抑えているかということについては、今年9月末時点で、ナラ枯れや松くい虫の被害について、昨年度に比べて約80%程度低下していることを確認しています。

(吉野委員)

ありがとうございました。

お話を聞くと、事業の評価のところでも、面積等、どのくらい効果があるのか書いた方がいいかと思います。場所によって蔓延地と先端地で出方が違うというのはその通りだと思いますが、実際に後で確認してらっしゃると思いますので、効果が顕著に認められた等、入れていただいた方がよいかと思います。

(國崎委員長)

ありがとうございます。若生委員・吉野委員から有益なお話があったかと思うので、このいわて環境の森整備事業の今後の取組について、今の意見を踏まえつつ進めていただければと思います。それでは時間も限られているところですので、目次のところで②から⑥まで御説明をお願いします。

(森林整備課：上部主任主査) 【資料1 No. ②に基づき説明】

(森林整備課：中嶋主任主査) 【資料1 No. ③に基づき説明】

(林業振興課：木村主事) 【資料1 No. ④-1に基づき説明】

(森林整備課：西澤主任主査) 【資料1 No. ④-2に基づき説明】

(林業振興課：木村主事) 【資料1 No. ⑤に基づき説明】

(森林整備課：西澤主任主査) 【資料1 No. ⑥に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。ただいまの内容について、②～⑥についてはかなり順調に

進んでいるようでしたが、御質問、御意見、アドバイス等ありましたらお願いいたします。はい、佐藤委員よろしくお願いいたします。

(佐藤委員)

路網マップの整備について、当初の資料で整備区域が「大船渡」とされていましたが、住田町内になった経緯を教えてください。

(森林整備課：中嶋主任主査)

ありがとうございます。令和5年度の路網マップ整備についてですが、当初委員会では、大船渡管内での実施を想定していましたが、大船渡農林振興センターにおいて、委託先である気仙地方森林組合と設置箇所を打ち合わせした結果、令和2年度に火災があり、路網マップを先に整備したいという地域の要望があった住田町上有住地区を選定しました。

(佐藤委員)

地域の要望を踏まえたうえで、関係機関に共有するというのは妥当かと思います。災害時における迅速な対応に重要な役割を担っていると思いますので、引き続き取組を進めていただければと思います。ありがとうございます。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。若生委員よろしく申し上げます。

(若生委員)

二点お伺いします。まず花粉症対策等のところについては、非常に順調に進んでいると思います。新しい樹種を育てるのと併せて植栽方法についても、同時進行で研究を進めているのかお伺いしたいです。もう一点で、木育の推進のところについて、非常に効果がみられています。出張おもちゃ美術館の記事を新聞等で見かけたのですが、この事業で行ったものか伺いたいです。

(森林整備課：上部主任主査)

花粉採種園のところで、県では現在低密度植栽を推進しており、既に実証が終わって、これから定着し、さらに進めていく段階となっています。スギについては、2,000本から2,000数百本の範囲に落ち着いてきており、カラマツについても同様に、2,200本程度で植えられていて、少なく植えたから成長が悪くなることはないことを確認しています。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

花巻の出張おもちゃ美術館の取組については、県南広域振興局花巻農林振興センターにおいて、地域ごとの活性化に資する目的で行っている地域経営推進費で実施しております。

(國崎委員長)

ありがとうございます。14ページの「⑦ 森林公園機能強化事業」から「⑩ いわたの森林づくり普及啓発事業」について、事務局から説明をお願いします。

(森林保全課：鈴木主任主査) 【資料1 No. ⑦に基づき説明】

(全国植樹祭推進室：田島主任主査) 【資料1 No. ⑧に基づき説明】

(森林整備課：西澤主任主査) 【資料1 No. ⑨に基づき説明】

(林業振興課：目黒主事) 【資料1 No. ⑩に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。ただいまの内容について、御質問、御意見、アドバイス等ありましたらお願いいたします。佐藤委員よろしく申し上げます。

(佐藤委員)

全国植樹祭の開催についてですが、皆さん御尽力いただきまして大盛況となりました。大変ありがとうございました。天皇皇后両陛下がお手撒きされた種・樹木の管理先はどちらでいつ頃高田復興記念公園に戻るのか教えていただければと思います。

(全国植樹祭推進室：田島主任主査)

ありがとうございます。全国植樹祭推進室の田島と申します。両陛下がお手植えされた木については、一本松の近くに移設をするということで、陸前高田市が土壌改良をしており、今年度中に移設される予定となっています。

お手撒きの種子については、現在二戸市及び林業技術センターにおいて育成中で、苗木になってから市町村を始めとする公共施設に配付を予定しておりまして、令和の7年度に配付可能となる見込みです。

(佐藤委員)

ありがとうございます。あともう一点、秋に復興記念公園を訪れた際に、御野立所の

撤去をされていたと思うのですが、その後の移転先や利用の方はどのようになりましたか。

(全国植樹祭推進室：田島主任主査)

ありがとうございます。御野立所のその後の移転につきましては、当初移築を検討していましたが、耐荷重の関係で積雪地や、県有施設への移設ができなくなったことから、市町村に移転を希望するところがないか探りましたが、市町村も移築する際の費用負担の関係で難しくなり、断念をせざるを得ない状況となりました。次の段階として部材を有効活用することで、改めて県や市町村の方に公共施設での活用について照会し、その要望が取りまとまったところです。例えば、県有施設だと警察の派出所の改築の部材の一部や、市町村の公民館などの施設改築に使われると聞いています。部材については、年明けに引き渡しができるよう調整を進めています。

(佐藤委員)

ありがとうございます。ちなみに移築などされたときに、何らかの記念碑みたいなプレート等は使われたりはしないですか。

(全国植樹祭推進室：田島主任主査)

そこまでを我々が求めるわけではありませんが、受け入れる側として、御野立所に使われ両陛下が着席された部材ということもあり、何か対外的なPRをしてもらえるのではないかと期待しています。

(佐藤委員)

承知しました。ありがとうございました。

(國崎委員長)

ありがとうございました。よろしいですか。それでは議題1はここまでとさせていただきます。1時間ほど経っていますので、5分ほど休憩といたします。14時45分から再開といたします。

## (2) その他（アカマツ広葉樹林化の施工地現地調査について）

(國崎委員長)

次に議題「(2) その他（アカマツ広葉樹林化の施工地現地調査について）」ですが、事務局から説明をお願いします。

(森林整備課：中嶋主任主査) 【資料2に基づき説明】



(國崎委員長)

ありがとうございました。なかなか大変な調査を実施していただきありがとうございました。こちらのアカマツ林広葉樹林化は議題の1でもありましたように計画の倍くらい実績があるということで、かなり良く活用をされていますが、間伐ではなく主伐という形で強めに伐るものですから、その後に広葉樹が生育しているのかを確認する方がいいのではないかと思いますので、以前からお願いしていた調査を実施していただいたということでございます。笹が多いところでは、少し少ない感じがしますが、概ね高木性の広葉樹が繁茂していることは確認できているかと思います。御説明に関して、御意見・御質問がありましたら、よろしくお願いたします。野口委員よろしくお願いたします。

(野口委員)

私も広葉樹の生育状況の確認は非常に重要だと思っていましたので、データを見せていただいてありがとうございます。一点、シカの個体数が増えており、シカに樹木が食べられてしまうと、更新が難しくなると思いますが、実施個所でシカの影響により、更新していない箇所はありますでしょうか。また、対策はありますでしょうか。

(森林整備課：中嶋主任主査)

ありがとうございました。シカについては、今回延べ2日間くらい調査したなかでは、影響は見られませんでした。シカの影響は非常に大きく、釜石市などでは、ナラ林健全化の施工地でシカ被害が多く、全て伐採できないため、事業実施を断念しているところがあると聞いています。

(野口委員)

ありがとうございます。シカの状況次第によっては、事業が未開拓の地域も出てくるのではないかと考えられますので、その中でも最新のデータ等見ながら計画を進めていただければいいのではないのかなと思います。

(國崎委員長)

ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいですか。吉野委員よろしくお願いたします。

(吉野委員)

全体的な話になってしまうかと思うのですが、森林整備を進めていくことを聞いていて、それと並行してカーボンニュートラル、ゼロカーボンという政策目標が非常に強

く言われるようになりまして、岩手県でも GX は政策の重要な課題に取り上げられるようになっていきます。県民税の事業をすることで、どの程度 CO<sub>2</sub> の吸収力を高める等、公益的な機能に資することができるか、試算することはできるのでしょうか。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

森林を整備することで二酸化炭素の吸収にどれだけ効果があるのかということにつきましては、第3期から4期へのあり方検討のなかで、森林の二酸化炭素の吸収効果を算定しており、林野庁のマニュアル等を使用し評価しています。例えば、あり方検討の時点では、32億円の二酸化炭素吸収効果が18年度から継続してあるという評価がされているところです。このような評価については、今期残り2年になりますが、また再評価していく形になると思われま

(吉野委員)

ありがとうございます。

昨今、政策的な話題になることが多く、再生可能エネルギーに転換するようなところもありつつ、森林そのものが整備されて吸収力を維持しているということがないと、ニュートラルにはならないと私は思っています。金額的な換算は勿論なのですが、CO<sub>2</sub> が吸収できるのか、あるいは一見すると木を伐ってしまうので、伐ってしまって本当に良いのかとかですね。植えたほうがいいのではないかという人もいるかなと思っています。例えば、今ある木をそのままにしても、枯死木が立ちっばなしになっていけば、一見森林であっても、CO<sub>2</sub> の吸収力効果を考えると、放置しても効果は出ません。そこは若返りを図って、新たな樹種が、葉を付けてきちんと繁っているということ自体が、非常に全体環境にとってみるとプラスになりますので、一旦伐って、変えていくというようなメッセージも果たせるのかと思います。県や日本、地球といったレベルで考えたとしても、こういった事業が、有効性が高いと多くの方に認識してもらうことも大事か

(國崎委員長)

吉野先生のおっしゃる通りで、いわて環境の森整備事業は、混交林誘導伐で間伐することで、二酸化炭素を吸収しながら枯死木等の発生が抑えられる効果があります。アカマツ広葉樹林化やナラ林健全化は、主伐なので伐ってしまいますが、若返りを図るとい

(吉野委員)

直接県民から税金を出していただいている以上は、制度のユニークさや効果を訴えていくのも大事な時期かなと思っています。

(國崎委員長)

ありがとうございます。その他、よろしいでしょうか。そうしましたら、議題2「アカマツ林広葉樹林化施工地現地調査」については以上とさせていただきます。

### (3) その他

(國崎委員長)

その他ですが、委員各位から何かございましたらお願いいたしますが、村中委員、よろしくをお願いします。

(村中委員)

今年度、なのりの里さんの方に御紹介いただいて、県民税を使って子供たちが楽しい里山を体験させていただきました。ありがとうございます。

全国植樹祭の方も参加させていただいて、県民税が使われているということも自分も実感することができました。私がやれることとして、周りの人に、こういうことも周知できたらと思ってやらせていただいています。ありがとうございました。

(國崎委員長)

はい、ありがとうございました。他によろしいでしょうか。他によろしいですか。はい、若生委員よろしくをお願いいたします。

(若生委員)

県民税を使っている人と、国の事業を使っている人は、実は同じ人がいろんな事業で活用されていることがすごく多かったです。何かそのネットワークみたいなのをうまく繋いでいけばいいなと思っています。奥州市で国の森林環境譲与税を使って、自然塾を開設して1日森で楽しもうというイベントを開催していたので、参加してきましたのですが、そこに、森守の盛で講師をしている方やツリークライミングをやっている人等、県民税事業のなかで、お名前を拝見した方が、ここでも活躍していると感じました。野外会場には、植樹祭で使われた椅子を、並べていただいていた、県民税のハンコを押しているのを見ました。個人的には、こういったことを通じて、繋がりができたり植樹祭のこともより伝わっていったらいいと思います。感想でした。

(國崎委員長)

ありがとうございます。次期どうするのかということは、話題も増えてくるかと思えますので、そういった機会でもたいろいろと、意見交換できればというふうに思っております。以上をもちまして議事を終了させていただきたいと思えます。ということで事務局の方にお返しいたします。

### 3 閉 会

(林業振興課：高芝振興担当課長)

國崎委員長、長時間にわたり円滑な議事進行について大変ありがとうございました。委員の皆様、本日はありがとうございました。ここで事務局より、次回日程について御連絡いたします。

(林業振興課：澤口主査)

次回の日程は現在のところ2月2日を予定してございます。正式な開催通知については、追って御案内いたします。

(林業振興課：高芝振興担当課長)

以上をもちまして、令和5年度第3回いわての森林づくり県民税事業評価委員会を閉会いたします。本日は、誠にありがとうございました